

物流業務の改善を提案

流通ロジスティクスが研修

生産、調達、輸送など
物流関連業務全般にわた
り調査研究をする流通ロ



ジステイクス総合研究所は13日、浦添市の浦添市のアイム・ユニバースでだこホールで人材育成研修を実施した。流通科学大学名誉教授でフィジカルインターネットセンターの森隆行理事長が、トラックや倉庫をシェアすることで稼働率を上げ、燃料消費量を抑制する物流システム「フィジカルインターネット」の効果について講義した。写真。

参加者はグループワークとプレゼンテーションを通して人材不足や環境破壊といった課題を共有し、改善企画を提案した。森氏は「新型コロナウイルスや技術開発により歴史の転換点を迎えている。長期的変化を見据えて対応しなければならぬ」と述べた。(普天間伊織)